



松江まちめぐり ●日時：【全コース】10月19日(土) 8:30~12:30

松江市立女子高等学校生徒(国際文化観光科)と建築士との交流(全行程観光バス・ガイド付き)

郷土の歴史や伝統文化を通して観光文化を専門的に学んでいる地元・松江市立女子高等学校(国際観光文化科)の生徒と一緒に、「国際観光文化都市」松江市の今後のまちづくりの在り方などについて語り合いながら、名所旧跡等の観光スポットを散策します。

① コース 松江の歴史と街づくり

松江城周辺(松江城・塩見縄手・小泉八雲記念館・堀川遊覧)

- 参加費：5,000円
- 定員：最少催行人数 30名

国の重要文化財であり、松江市民が国宝化に向けて取り組んでいる松江城。安定感のある無骨な体裁ながら、その端正で優雅な風格は人々を魅了します。天守閣から360度見渡せる松江の景色をご覧ください。

松江は内堀・外堀が全国で唯一昔のまま残っており、水質の浄化が実施され綺麗になった堀川に遊覧船を就航させています。松江城を一周する遊覧船は屋根付きの小舟で、橋の下を通る時には、屋根を折りたたんで通り抜けるスリルを味わいながら、水面からの風景と船頭の軽妙な語り口に酔いしれ、松江の歴史をお楽しみ下さい。また、小泉八雲著の「日本の面影」に登場する塩見縄手周辺を散策し、古き良き時代へタイムスリップを。

8:30 くにびきメッセ(大会会場)

松江城周辺散策
 松江城・塩見縄手・
 小泉八雲記念・堀川遊覧

12:30 くにびきメッセ(大会会場)



松江城



堀川遊覧



塩見縄手周辺

② コース 堀川遊覧と松江の茶室めぐり

堀川遊覧・明々庵(茶室)・松江歴史館・観月庵(茶室)

- 参加費：5,000円
- 定員：最少催行人数 30名

松江藩7代藩主松平治郷(不昧公)は、形式にとらわれずお茶を楽しみ、武家だけではなく庶民に親しまれました。そのお茶文化は現在でも庶民の間に深く根づいています。「茶室めぐり」と「お茶」と松江の「銘菓」でご堪能下さい。

まず、堀川遊覧で松江の景色を楽しんでいただきます。そして、不昧公好みに建てられた茅葺・入母屋造りの茶室「明々庵」にて一服の抹茶で至福の一時を。

松江歴史館では、松江の成り立ちをご見学下さい。そして、松江城の鬼門封じのために造営された普門院。その一角に建てられた茶室「観月庵」へ。不昧公もここで月を愛でながら抹茶を楽しんだと言われていいます。「わび・さび」の美にふれて下さい(普門院は八雲の怪談にも登場するお寺です)。

8:30 くにびきメッセ(大会会場)

堀川遊覧

明々庵(抹茶とお菓子)

松江歴史館

観月庵

12:30 くにびきメッセ(大会会場)



風流茶人松平不昧公



松江歴史館



明々庵

松江の茶室について

Column

島根県は茶の湯が盛んです。どんな田舎に行っても日常的に抹茶をいただく習慣が根づいています。お茶をどうぞと言われれば抹茶にお菓子が添えられて出てきます。松江のお茶文化をつくったのは松江藩7代目藩主松平治郷(不昧公)です。藩政改革を行い、潰れかけた藩財政を立て直したヒーローであると同時に茶人としての顔を持ち、茶道に通じ不昧流なる流派までつくり松江に残しました。松江で最も敬愛される藩主不昧公が島根のお茶文化の礎を築いたと言ってもよいでしょう。

お茶室は単独にあるものやお寺にあるもの、そして個人宅にあるものなどいろいろです。まずは国指定重要文

化財「菅田庵」です。不昧公を喜ばすため、家老の有澤氏が山荘内に作った茶室です。二畳台目中板、待合は蒸し風呂付きです。

「観月庵」は松江城の西に位置する普門院という寺の一隅に建てられている茶室です。三斎流の茶室です。お寺が天台宗のため、仏事と結びついた茶の作法が特徴的です。月見のための大きな丸窓が茶室にくりぬかれています。なお普門院はラフカディオ・ハーンが怪談にも出てくる古いお寺です。

最後に、「大寂庵」という民間の茶室を紹介します。見での通り、酒樽に屋根をかけて茶室に改造しています。そう古いものではありません。島根には、他にも木の根をくりぬいた茶室とか、ユニークなものが存在します。



菅田庵



観月庵



大寂庵

③ コース パワースポットを訪ねて

玉造湯神社(「願石・叶石」)・八重垣神社「鏡の池」

- 参加費：3,000円
- 定員：最少催行人数 30名

出雲の國風土記(1300年前)に日本最初的美顔温泉として紹介された玉造温泉。そして神々が集う出雲の地松江には、近年特に若い女性に人気のパワースポットがたくさんあります。玉造湯神社「願石と叶石」では、パワーを秘めた石に触りながら願いごとをすれば、不思議な力が吹き込まれると言われています。ヤマタノオロチ退治で有名なスサノオノ尊と稲田姫が日本で初めて結婚し新婚生活を送った八重垣神社。地面からは2本の椿、地上で1本になっていることから、愛の象徴と言われる夫婦椿。占い池(鏡の池)での恋占い。神社壁画として日本最古の美しい稲田姫とスサノオノ尊の御姿。神話の世界へと誘う靈感の森へ。

8:30 くにびきメッセ(大会会場)

玉造湯神社

八重垣神社

12:30 くにびきメッセ(大会会場)



八重垣神社



玉造湯温泉「願石・叶石」



鏡の池(恋占い)

④ コース 宍道湖遊覧と牡丹と高麗人參の里「大根島」を訪ねて

宍道湖遊覧(白鳥号)・大根島(由志園)

- 参加費：5,000円
- 定員：最少催行人数 30名

湖都松江を代表する宍道湖。この湖を周遊する遊覧船「白鳥号」にて湖からの松江の風情を満喫して下さい。そして、波静かな中海に浮かぶ、国内有数の薬用高麗人參の生産と年間180万本もの生産量を誇る牡丹の島「大根島」へ。

島根県の県花である牡丹、四季折々の花々の鑑賞ができ、池泉回遊式庭園で有名な由志園をお楽しみ下さい。



日本庭園「由志園」



宍道湖遊覧船「白鳥号」

8:30 くにびきメッセ(大会会場)

9:00~10:00 宍道湖遊覧(白鳥号)

大根島(由志園)

12:30 くにびきメッセ(大会会場)